

子どもを虐待から守るオレンジリボン運動

オレンジリボンには子ども虐待を防止するというメッセージが込められています。



周りの人が虐待に気付くきっかけチェックリスト

子どもの様子

- いつも子どもの泣き叫ぶ声や保護者の怒鳴っている声が聞こえる
- 不自然な外傷(あざ、打撲、やけど)などが見られる
- 極端な栄養障害や発育の遅れが見られる(低身長、低体重)
- 衣服や身体が極端に不潔である
- 食事に異常な執着を示す
- ひどく落ち着きがなく乱暴、情緒不安定である
- 表情が乏しく活気がない(無表情)
- 態度がおどおどしており、親や大人の顔をうかがったり、親を避けようとしたりする
- 誰かれなく大人に甘え、警戒心が薄い
- 夜遅くまで遊んだり、徘徊している
- 家に帰りたがらない

保護者の様子

- 地域や親族などと交流がなく、孤立している
- 小さい子どもを家に置いたまま、よく外出している
- 子どもの養育に関して拒否的、無関心である
- 子どもを甘やかすのはよくないと強調する
- 子供に対して拒否的な発言をする
- 気分の変動が激しく、子どもや他人にかんしゃくを爆発させることが多い
- 子どもがケガしたり、病気になっても医者に診せようとしめない
- 子どもへのケガについて不自然な説明をする



乳幼児揺さぶられ症候群とは…

赤ちゃんが何をやっても泣き止まないと、イライラしてしまうことは誰にでも起こりえます。しかし、泣き止まないからといって、激しく揺さぶらないでください。あかちゃんや小さな子どもが激しく揺さぶられると、見た目にはわかりにくいですが、頭(脳や網膜)が損傷を受け、重い障がいが残ったり、命を落とすことがあります。どうしても泣き止まないときは、赤ちゃんを安全なところに寝かせて、その場を少しの間でも離れ、まず自分をリラックスさせましょう。

